



No. 8

2018年4月23日

サラダクラブ産地表彰式を開催

第2回「Grower of Salad Club 2018」

全国約400の契約産地の中から8産地を「最優秀賞」として表彰

株式会社サラダクラブ

株式会社サラダクラブ（代表取締役社長：萩芳彰、本社：東京都調布市）は、2018年4月20日（金）に、六本木ヒルズクラブ（港区）にて、契約産地を表彰する「Grower of Salad Club 2018（グロワー・オブ・サラダクラブ 2018）」を開催しました。

「Grower of Salad Club」は、日頃お世話になっている生産者のかたへ、感謝の想いを伝えることを目的に、昨年初めて開催しました。第2回目となる今回は、8産地を「最優秀賞」、19産地を「優秀賞」、4産地を「特別賞」として表彰しました。



サラダクラブでは主要原料（キャベツ、レタス、ロメインレタス、サニーレタス、グリーンリーフレタス）を工場で使用する際、品位の評価をしています。工場や人によって評価にブレがないよう、野菜毎に明確な評価基準※を設けています。

※例えば、レタスでは、「サイズ」「外葉」「巻き」「褐変・蕩け」「内部異常」「病虫害」の6項目で評価。



最優秀賞に選ばれた8産地の方々と
 サラダクラブ 萩代表取締役社長（右）、田中専務取締役（左）

今回の表彰では、主要原料を対象品目とし、2017年度（2016年12月～2017年11月）の期間中、評価点が最も高かった8産地を「最優秀賞」に選定しました。次に得点が高かった19産地を「優秀賞」に選定しました。「特別賞」は、天候不良による野菜の生育不足の中、葉物野菜の安定調達に大きく貢献いただいた産地と、新規原料の供給に貢献いただいた産地を選定しました。

当社は、生産者との顔が見える関係を基本に、「契約取引」で原料を調達しています。

「契約取引」は、一定価格での安定した原料調達を実現するという当社側のメリットのほか、生産者にとっては、安定的な収入を基盤とした戦略的投資が実現できるというメリットがあります。現在、全国に約400の契約産地があり、常に安定した調達ができるよう取り組んでいます。

今後も、商品の品質向上に努めるとともに、産地との密なコミュニケーションを生かした独自の商品開発など、お客様にとって魅力ある商品づくりに努めてまいります。

<最優秀賞受賞産地>

	産地名	対象品目	所在地
1	しかりべつ高原野菜出荷組合	キャベツ	北海道加東郡
2	株式会社黄金崎農場	レタス類	青森県西津軽郡
3	J A 利根沼田	レタス類	群馬県沼田市
4	J A 長野八ヶ岳川上支所	レタス類	長野県南佐久郡
5	有限会社ハヤシ	レタス類	長野県南佐久郡
6	株式会社安田商店	キャベツ	愛知県田原市
7	松江・八束くにびきキャベツ部会	キャベツ	島根県出雲市
8	J A 山口中央	キャベツ	山口県山口市

<優秀賞受賞産地>

	産地名	対象品目	所在地
1	有限会社富良野青果センター	キャベツ	北海道富良野市
2	J A 岡山	キャベツ	岡山県岡山市
3	有限会社孀恋オーアンドエフ	キャベツ	群馬県吾妻郡
4	株式会社三豊セゾン・株式会社三豊ファームサービス	レタス類	香川県観音寺市
5	八千代組合	キャベツ	茨城県結城郡
6	株式会社カサイ	レタス類	徳島県阿波市
7	農事組合法人四季菜くらぶ	レタス類	茨城県結城郡
8	J A みい大刀洗集出荷場	レタス類	福岡県三井郡
9	J A みい園芸流通センター	レタス類	福岡県久留米市
10	有限会社アグリネット	レタス類	長野県北佐久郡
11	J A おおいた農肥事業部洋菜部会	レタス類	大分県竹田市
12	J A 全農長野	キャベツ	長野県長野市
13	有限会社北部農園	レタス類	熊本県熊本市
14	有限会社アマリファーム	レタス類	長野県小諸市
15	株式会社鹿児島ヤマダイ	レタス類	鹿児島県指宿市
16	とぴあ浜松農業協同組合	キャベツ	静岡県浜松市
17	鹿児島いずみ農業協同組合	キャベツ	鹿児島県鹿児島市
18	豊橋農協鉄コン倶楽部	キャベツ	愛知県豊橋市
19	J A 倉敷かさや	レタス類	岡山県倉敷市

<特別賞受賞産地>

	産地名	対象品目	所在地
1	アグリサービスジャパン	セルバチコ	静岡県袋井市
2	日本山村硝子株式会社	クレソン	兵庫県尼崎市
3	鹿児島ヤマダイ	レタス類	鹿児島県指宿市
4	Tanimura & Antle	レタス類	アメリカ合衆国

■株式会社サラダクラブについて

株式会社サラダクラブは、野菜の鮮度とおいしさにこだわり、色々な種類の野菜を組み合わせ、洗わずにそのまま食べられる「パッケージサラダ」を製造・販売しています。キューピー株式会社と三菱商事株式会社の共同出資により1999年に設立されました。利便性と価格が一定という経済性が支持され、需要が拡大しているパッケージサラダ市場で、サラダクラブは国内最大のシェア率(金額)^{*1}を誇り、販売店舗数は15,000店(2017年11月現在)に及びます。

サラダクラブのパッケージサラダは、国産野菜を中心に使用しています。(自社工場における全体使用量の約95%^{*2})春夏秋冬、途切れることのない産地リレーで、年間を通して旬の野菜を調達しています。産地はパッケージの表面に記載しています。

*1: マクロミルQPR(サラダメーカー別 2017年1月-12月) *2: 2017年度実績

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社サラダクラブ 商品部 小林・荒金・佐々木

TEL. 03-5384-7690(直通) FAX. 03-5384-7805

〒182-0002 東京都調布市仙川町2-5-7

<http://www.saladclub.jp> E-mail. info@saladclub.jp

<お客様からの問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-662-831